



静岡県勤労者協議会連合会

ホームページ <http://kinrokyo.net/shizuoka/>  
Eメールアドレス shizuoka@kinrokyo.net

## 第61回静岡県勤協連定期総会を開催

静岡県勤労者協議会連合会は6月24日（土）14時より、清水江尻生涯学習交流館に於いて『第61回定期総会』を開催、15名が参加しました。今回の総会も『コロナ禍を考慮して幹事+各支部代表者』と規模を縮小して対応してきました。



### 新たな戦前にさせない決意を固める

同総会では堀内武治会長が、1) 岸田自公政権が防衛費増額問題を含めて「衆議院解散＝総選挙」の動きを見せたが、直近の毎日新聞の世論調査では岸田内閣支持率は33%と5月の調査より12%も下落した。不支持率は58%で、前回調査より12%も上昇した。今回の世論調査は他社（朝日・共同通信）の調査では、不支持率は朝日が46%、共同で41%といずれも支持率を上回った。朝日・共同は前回調査では支持率が不支持率を上回っていたが逆転した。

### 国民も防衛力強化の増税には反対の姿勢

2) 国民も岸田自公政権が強行した「防衛費力強化のための増税方針」に対して、『支持する』はわずか19%で、『支持しない』が80%に上がった。2023年度からの5年間の防衛費を43兆円とすることにも『適切ではない』が58%と過半数を占めていることが判明しました。



### マイナンバーカードに対する反発も

3) 朝日調査では、マイナンバーを巡るトラブルへの政府対応について、72%が「適切ではなかった」と答え、「適切だった」の19%を大きく上回った。共同調査では、現在の健康保険証を来年度秋に廃止してマイナンバーカードに1本化する政府方針について「延期」「撤回」を求めた人が合

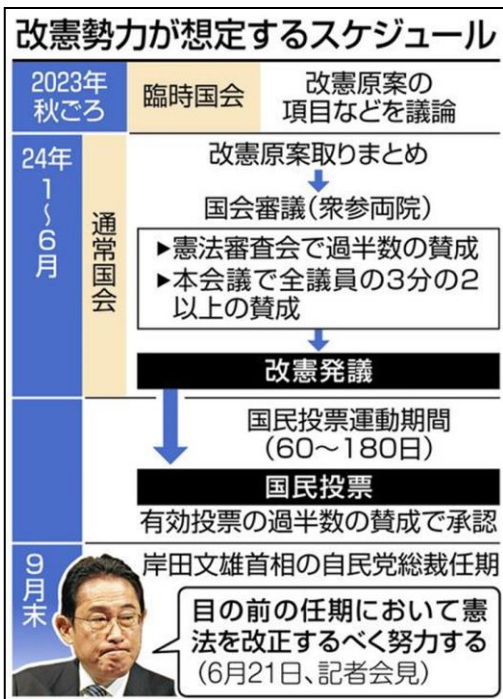
計で7割を越えたことが判明しました。一方、長男が秘書官を辞任した問題では、朝日調査で岸田首相に「責任がある」とした人は「大いに」、「ある程度」を合わせて75%に上がった。岸田首相が発表した「異次元の少子化対策」に関しては、問題の改善が期待できるのかの問いには「期待できない」が73%で「期待できる」は23%だった。



## 2024年の改憲は絶対に阻止する決意を

4) 上記の世論調査結果が示している様に、防衛費強化、子育て支援、物価対策、原発政策、等を見ても岸田自公政権の政策は国民からは多くの反発を受けています。結局、「衆議院の解散を実施すれば、国民の反発を恐れて実施できなかった」と、言わざるを得ません。

しかし、岸田自公政権は「衆参の憲法調査会」で論議が進み、改憲に前向きな与党や一部野党は改憲原案の取りまとめに向けた発言を進めています。岸田首相が目標に掲げる2024年9月までの改憲実現を視野に、憲法に緊急事態条項を新設し、緊急時に国会機能を維持するための議員任期延長規定を設ける改憲を主張しています。



## 地域から小さな活動を積み上げて反撃へ

5) 岸田自公政権が進めている「新たな戦前づくり」は、着々と進められています。こうした動きに対して、県勤労協は「各地域から小さな活動を積み上げて、静岡から反撃の炎を全国へ!」を合い言葉に、8月の原水禁運動の一環である『各地域での反戦・平和集会』に取り組みしましょう。

そして、近い将来と言われている「衆議院解散=総選挙闘争」、2025年の参議院議員選挙、各地域の市議会議員選挙への勝利へと結びつけていきましょう。第61回の定期総会を機に「新たな決意を固めて勤労協運動を前進させましょう」と、訴えました。

同総会では、橋本勝六副会長が「2022年度一般経過報告」と「2022年度決算報告」を提案し全体で確認されました。その後、秋山一事務局長が「2023年度運動方針と補足資料」として、2頁以降の資料説明を行い『8月に各地域からの平和資料展を開催すること』、『7月15日の東富士米軍の実弾演習に抗議行動に参加する』等、を全体で確認してきました。

## 防衛財源法成立 軍拡進める悪法撤回を

防衛費増額の財源を確保する特別措置法が、参議院で6月16日に可決され成立した。2023~2027年度の5年間で総額43兆円を投じる大幅増額だ。

政府は「防衛力の抜本強化や、安定的な防衛力の維持に充てる」と説明しているが財源は曖昧で、法人税、所得税、たばこ税の増税を計画している。攻撃型ミサイルなど敵基地攻撃能力(反撃能力)を保有することも狙う。

政府方針は国民の理解を得られていない。敵基地攻撃能力の保有はアジアの緊張を高める。その能力を狙うミサイルが沖縄に配備される恐れもある。悪法と言うほかない。貴重な財源は少子化対策や物価高への対策など国民にとっての喫緊の課題に充てるべきだ。撤回を求める。

防衛費増額分の財源は、増税のほか、特別会計からの繰り入れなどによる税外収入、税収の上振

れなどに伴う決算剰余金、歳出改革の 4 つを組み合わせた確保するという。野党は国会でそれぞれの見積もり根拠を質したが、政府側はことごとく具体的な確保策を示さないまま最後まで押し切った。

野党各党は立場に温度差があるが増税反対では一致している。増税開始時期を巡り政府は「2024 年以降の適切な時期」としていたものの、自民党からの要請を受け「2025 年以降」に先送りすることを示唆した内容を、経済財政運営の指針「骨太方針」に書き込んだ。

国民も反発している。共同通信社が 5 月にまとめた全国世論調査では、防衛力強化のための増税方針を「支持する」はわずか 19%で、「支持しない」が 80%に上がった。2023 年度からの 5 年間の防衛費を 43 兆円とすることにも「適切ではない」が 58%と過半数を占めた。

財源の 1 つとされる税外収入について、野党は実質的に「隠れ赤字国債（借金）」であり、将来世代の負担増につながると指摘する。一般財源の決算剰余金を防衛費に廻せば、景気対策などの財源が失われ、結局は別名目の借金が膨らむ。肝心の歳出改革も具体策が見えない。

これでは予算規模ありきの暴走でしかない。そもそも政府が 2027 年度の防衛費と関連予算を合わせて国内総生産（GDP）比 2%にするという根拠も不明確だ。このような法律を与党の数の力で成立させたのは乱暴だ。ただでさえ、少子化対策予算の財源確保がままならず国民は物価やコロナ禍で苦しんでいる。そこに財源を回すべきだ。

玉城デニー知事は、敵基地攻撃能力を持つミサイルの県内配備に反対する考えを政府に伝え、「平素の対話による平和環境の構築」を求めた。政府は軍拡ではなく、紛争の火種を除去する外交に注力すべきだ。

攻撃型ミサイル配備を目指す政府の市政を、中国やロシア、北朝鮮は「挑発」と受け止めているに違いない。軍拡まっしぐらの市政を改め、憲法がうたう平和主義の原則に立ち返るべきだ。

(2023 年 6 月 18 日 05:00 琉球新報)

## 防衛費 5 年間で大幅増の 43 兆円、 実際は 60 兆円近くに膨張 そのわけは…

### ◆28 年度以降のローン支払いが 16 兆 5000 億円にも

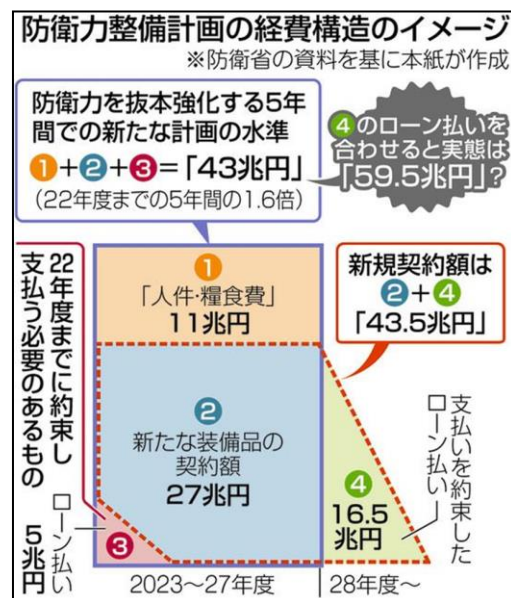
政府が 2023~27 年度の 5 年間の次期計画で打ちだした防衛費の大幅増に関し、実際の規模は 60 兆円近くに膨れ上がることが分かった。政府は 5 年間の規模は 43 兆円としているが、それ以外にも、期間中に新規契約する装備品購入費で 2028 年以降にローンで支払う額が 16 兆 5000 億円あるためだ。

保有を決めた敵基地攻撃能力（反撃能力）向けのミサイルや戦闘機など的高額兵器を一気に増やすことが影響しており、防衛費のさらなる膨張や予算の硬直化につながる恐れがある。

5 年間で 43 兆円という金額は、政府が今月に閣議決定した安全保障関連文書の 1 つ「防衛力整備計画」で示した。現計画の 1.6 倍近い大幅増となる。内訳は自衛隊員の給与や食費など「人件・糧食費」11 兆円、新たなローン契約額のうち 27 年度までの支払額 27 兆円、2022 年度までに契約したローンの残高 5 兆円となっている。

5 年間に組む新たなローンの総額は、現計画の 17 兆円から 43 兆円 5000 億円へ 2.5 倍にはね上がる。2027 年度までに支払う 27 兆円を差し引くと、16 兆円 5000 億円が 2028 年度以降のローン支払いで、政府が 5 年間の規模とする 43 兆円と合わせれば、59 兆 5000 億円になる計算だ。

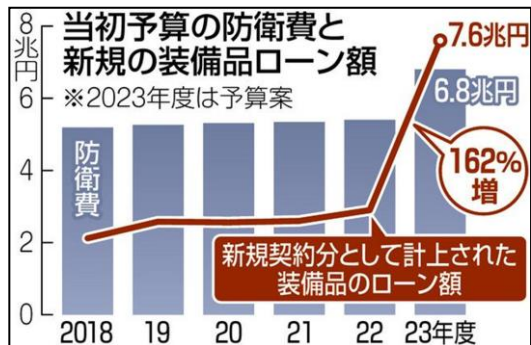
国の予算は、その年の支出はその年の収入や借金を充てる単年度主義が原則だが、高額な装備品や大型公共事業は 1 年で賄えないため「後年度負担」と呼ばれる分割でのローン払いが認められている。安倍政権はこの仕組みを使って、米国製兵器の購入を大幅に拡大させ、岸田政権も「防衛力



の抜本強化」を掲げてその流れを加速させた。

積み残しの 16 兆 5000 億円は 2028 年度以降に返済を迫られ、仮に 2028 年度から 5 年間の防衛費が同規模の 43 兆円とすれば、4 割弱をローン支払いが占めることになる。その場合、新たに必要となる装備品購入にしわ寄せがいくが、防衛省の担当者は「試算では大丈夫だ」と主張する。

## ◆財務省「通常あり得ない」 防衛省、全体像示さず



一方、予算を査定する財務相幹部は「これだけ期間外のローン支払いが膨らむのは異例で、通常はあり得ない」と懸念。防衛費の次期計画の上限学を前提とせず、必要性を精査して圧縮していくべきと訴える。防衛省がホームページで公表する防衛力整備計画は 2022 年 12 月 30 日時点で、16 兆 5000 億円に関する記述がなく、国民に説明責任を果たそうという市政は見えない。

一橋大の佐藤主光教授（財政学）はローンが重荷となり「次の計画で新しく買うべき装備品が買えなくなる可能性がある。そうでなければ年間の防衛費が国内総生産（GDP）比 2% を越えて

膨張する恐れもある」と指摘。ローンの財源や年 1 兆円強の増税方針について「政府は国民に全体像を丁寧に説明すべきだ」としている。（2022 年 12 月 31 日、東京新聞）

◆編集者が東京新聞の上記の記事を発見したのは、恥ずかしながら本年の 5 月末段階でした。その間、多くのマスコミは「防衛費増額は 43 兆円」と報道を続けていました。上記の法案は参議院で 6 月 16 日に可決され成立しました。しかし、琉球新報社説で「防衛財源法成立 軍拡進める悪法撤回を」と、訴えています。是非とも、一読をお願いします。

私たちは、『新たな戦前にはさせない』ためにも上記の悪法を撤回させるための活動を続けていきましょう。

## 政府、米大統領発言に異論 「防衛費増は日本の判断」

バイデン米大統領が 6 月 20 日の演説で、日本の防衛費増額方針について「自身が説得した結果だ」と発言したことが 6 月 23 日に明らかになりました。その為、松野博一官房長官は記者会見で「防衛費増額は日本自身の判断」とする政府の立場と相いれないとして異論を申し入れたと明らかにした。米側も日本の立場に理解を示したという。



◆編集者は今回の記事を読んで、「あーあー、防衛費（軍事予算）もアメリカの言いなりなのか」と、思いました。それは、バイデン米大統領の方が本音であると思えるし、日本の松野官房長のコメントは『言い訳に聞こえるのは小生だけ』でしょうか。それにしても問題なのは「防衛費増額に賛成した政党は自公の与党ばかりではなく、野党の一部も賛成した」ことではないでしょうか。

（2023 年 6 月 23 日 12 時 14 分 共同通信）

## 福島原発処理水の海洋放出「夏頃」変えず 汚染水の発生量減っても見直さず

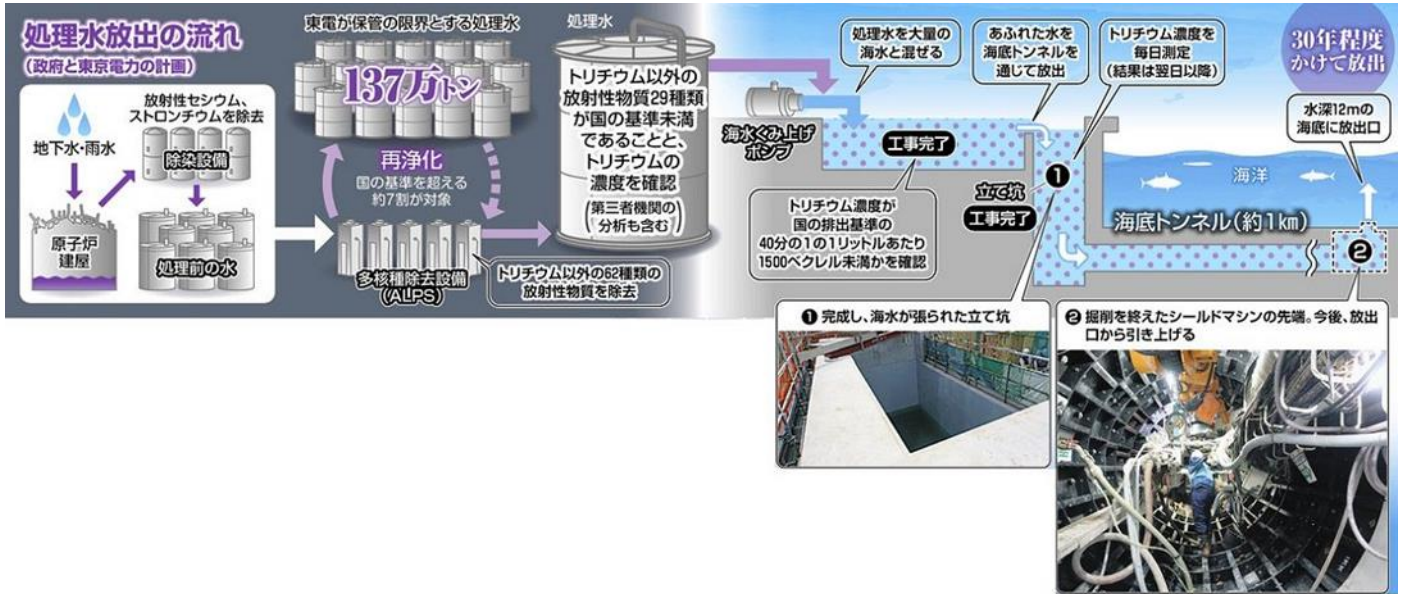
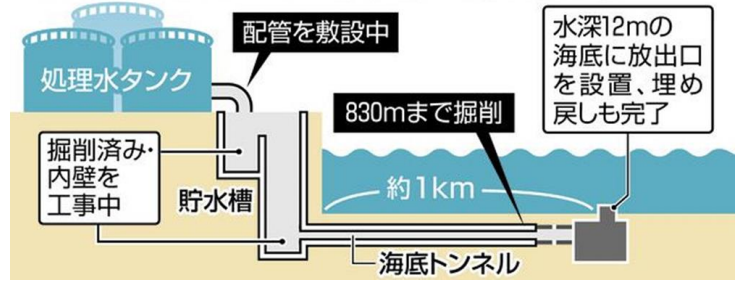
2023 年 6 月 19 日 12 時 00 分

東京新聞は本年 2 月 26 日、福島第 1 原発では「処理水の海洋放出に向けた準備が進み、設備工事は大詰めを迎えている。政府は海洋放出開始を『今春から今夏ごろ』という方針だ。政府と東電は福島漁連に対し『関係者の理解なしに海洋放出はしない』と約束しているが、『海洋放出ありき』

のまま、なし崩し的に手続きが進んでいる」と、指摘していました。

東京電力福島第1原発（福島県大熊町、双葉町）のタンクにたまり続ける汚染水を浄化した後の水の海洋放出は、設備の工事が大詰めを迎えている。一方で、汚染水の発生量は減っており、東電はタンクが満杯になる次期を見直し、2024年に延ばした。直近のタンク容量の逼迫が回避されても、政府や東電は「夏頃」とする開始時期を変えようとはしない。（渡辺聖子）

### 福島第一原発の処理水放出設備の工事状況



### ◆残る作業は放出口のふたなどのみに

放出設備の工事は、配管や海底トンネルなど主な設備が完成。後はトンネル掘削に使ったシールドマシンをクレーン船で放出口から引き上げ、放出口にふたをする作業などを残すのみとなっている。

5月から6月にかけては、海外からの視察が相次いだ。首脳会議で視察団の派遣が決まった韓国からは専門家らが来日。国際原子力機構（IAEA）も、放出前最後の現地調査を終え、近く報告書を公表する。

東電と政府は、2015年に、福島県漁連に「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」と約束した。しかし、漁業者の海洋放出反対は今も根強い。

### ◆タンク満杯の時期は2024年2～6月頃

東電が保管の限界とするタンクの容量は約137万トン。東電は本年4月、満杯になる次期を従来の「2023年秋ごろ」から「2024年2月頃～6月頃」に変更した。建屋内に流れ込む地下水や雨水の量を抑える対策で、汚染水の発生量が減少したからです。

しかし、福島第1廃炉推進カンパニーの小野明再考責任者は会見で、「処分は先送りできない課題」と述べ、放出開始時期を変更する考えはないことを強調しました。

### ◆放出前に調べるのは30種類

東京電力は、処理水に含まれる放射性物質の濃度が放出基準を満たすかどうか、放出前に29種類の核種と、多核種除



去設備（ALPS）で処理しても取り除けないトリチウムの計 30 種類を調べる。5 月の原子力規制委員会の認可により、2 種類を外して新たに「鉄 55」を加え、計 30 種類となった。半減期や環境への影響度合いから判断された。

私たち静岡県勤労者協議会は「原水禁県民会議」へ加盟しています。この間、核兵器廃絶に向けた活動や反原発・反核運動を展開してきました。『海を核のゴミで汚染するな!』は多くの国民の声であり、『世界から反発の声』も上がっています。私たちは微力ですが、子供や孫たちに『綺麗な海』、そして『核の汚染されていない海』を継承させる為に頑張りましょう。

（文責：静岡県勤協連事務局長 秋山 一）

## 各地区活動報告

### ☆三島市勤労協

#### 2023年度定期大会を開催

5月19日（金）三島市大社町別館・防災研修室において、三島市連合勤労協定期総会を開催しました。

#### ◆2022年度の事業報告

○毎月1回の役員会 ○三島市里山再生の共同事業（山田川竹林整備事業）○富士山2合目営林署の土地への植林○静岡県勤労協の研究集会等への参加○山梨県へのブドウ狩り○三島市勤労協の中心組織「長伏友和会」の味噌・蒟蒻づくりに他の勤労協からも参加

#### ◆2023年度の事業計画

○これまで続けてきた自然保護活動の継続（山田川竹林整備、接待茶屋整備、湧き水枯渇の防止のために富士山植樹、狩野川・大場川の災害防止）○静岡県勤労協の活動への積極的な参加 ○先輩が続けてきた活動の継続（西伊豆町中国殉難者慰霊のつどい）○会員の親睦活動（山梨県でのぶどう狩り等）

（2023年度役員） 会長・仁杉秀夫 副会長・山田信昭 事務局長・後藤憲俊  
事務局次長・古瀬秀樹、諏訪勝徳、松井光義 専門部長・八十嶋雅夫、菊池博 会計・堀江辰男  
会計監査・青木薫 相談役・杉山精三、北原昇



### ☆袋井市勤労協

#### 第72回定期大会を開催

袋井勤協第72回大会は、6月5日代議員・役員24名の出席により、白雲荘において開催されました。

議長に太田代議員を選出し、栗原会長挨拶に続き、来賓の笹本掛川勤協事務局次長の祝辞、大場袋井市長・堀内静岡県勤協連会長のメッセージが披露されました。

議事次第に従い「2022年度活動報告、決算報告」等を承認した後、「2023年度活動方針案と予算案」の審議に入り、各議案は原案通り承認されました。

役員改選では、中島選考委員長提案の



内容で満場一致承認され、新体制がスタート、新役員を代表して栗原会長が「明るく楽しく皆で活動を」と呼びかけました。

第2部は勤協会員「松本きよみさんの歌謡ショー」。持ち歌と共に、昭和時代の名曲を交えての熱唱に楽しい一時を過ごしました。

※左の写真中「旅姿三人男」の演者は誰か分かりますか？

(2023年度役員) 会長・栗原清剛 副会長・村松早苗、中島正二  
事務局長・太田強 事務局次長・織田和利  
常任委員・和田守、長谷川光秋、鈴木豊、太田芳春、小林幸男、木村君代  
会計監査・太田昇、藤原正治 顧問・丹羽定夫、寺井紗知子



## 「東海北陸ブロック総会」に参加

5月14・15日石川県加賀市で開催された第13回ブロック総会に、袋井勤協から会長と事務局長が参加しました。

コロナで5年ぶりの開催となりましたが、54名が参加者し、今後の勤労協活動活性化に向けての方針を確認しました。

記念講演「志賀原発運転差し止め訴訟の経過について」岩淵弁護士より報告がありました。二日目は、各県連代表による活動報告が行われ、静岡県連からは、堀内会長が県勤協と掛川勤協の報告を、袋井勤協は、栗原会長が行いました。各県報告に対する意見交換で、理解を深め今後の活動の参考とする事を確認しました。



## 植樹松の「下草刈り作戦」に参加

6月4日、袋井市農政課の要請により、浅羽海岸松林管理保全活動に、各労組や団体等の皆さんと共に、勤協参加の3名は汗を流しました。

時節柄、町内の草刈と重なり少数精鋭の参加者は、背丈以上に茂った草や蔓に悪戦苦闘しましたが、草刈り機が威力を発揮して、作業は順調に進み、松林の間が見通せる程すっきりしました。

滴る汗を拭いながら、松林の順調な生育を願い現地を後にしました。

## 第34回グラウンドゴルフ大会 5月20日開催

雨上がりのグラウンドには、過去最多の123名が集合し、日頃の練習の成果を競いました。

33回大会入賞によるハンディも物ともせず、今回も入賞した強者もおりました。次回の「第5回秋季大会(9月)」にお友達を誘って是非ともご参加下さい。

◎入賞者の皆さん おめでとうございます。



### ◇ 袋井勤労協 今後の活動予定

7月17日	第35回歌声喫茶 勤協会議室
8月1日～10日	平和写真展 市民ギャラリー(市役所2F)
9月18日	第36回歌声喫茶 勤協会議室
24日	日帰りバスツアー ②日程変更の場合があります
30日	第5回秋季GG大会 広岡河川公園
11月18日	第35回GG会員大会 広岡河川公園
20日	第37回歌声喫茶 勤協会議室
25日	市政懇談会 勤協会議室
中旬～	歳末助け合い募金運動 理・美容室へ募金箱配備
12月28日	フラワーアレンジメント教室《お正月用》 勤協会議室

(袋井勤協ニュース NO.467 より抜粋)

株式会社イーウェル  
Ewel

**500円相当の WELコインをプレゼント!**  
※こくみん共済 coop 組合員の方が対象です。

# こくみん共済 coop 公式アプリ リリース記念キャンペーン

こくみん共済 coop 公式アプリのリリースを記念して初回登録キャンペーンを開催!  
公式アプリからこくみん Lifeサポート (生活設計サポート) のキャンペーンページで  
エントリーボタンをタップした方に**500コイン**をプレゼント!

キャンペーン対象期間 2023年5月16日～2024年5月31日

(株)イーウェル提供

## キャンペーン特典の受け取り方

公式アプリからこくみん Lifeサポート(生活設計サポート)へアクセスし、キャンペーンページでエントリーボタンをタップ!

**STEP 1** 公式アプリをインストール

**STEP 2** ログイン後、アプリ内のボタンをタップ

**STEP 3** キャンペーンページでエントリーボタンをタップ

**500コインプレゼント!**

**WELコインとは?**  
生活設計サポートの「たまる」サービスを利用すると利用金額などに応じて付与され、「使える」サービスで利用できるお得なポイント制度です。

**注意事項** ※特典付与は一人さま1回限りとなります。 ※詳細・特典受取りは公式アプリのこくみん Lifeサポート (生活設計サポート) キャンペーン専用ページをご確認ください。

**さらに! ダブルチャンス!**  
生活設計サポートメニューを利用後にコメントを投稿した方にさらに**500コイン**プレゼント!

**公式アプリインストール方法**

Androidの方はこちら iPhoneの方はこちら

各アプリストアで「こくみん共済 coop」と検索!

こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん

※App StoreはApple Inc.のサービスです。  
※Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

こくみん Lifeサポート (生活設計サポート) のご利用における注意事項> ●こくみん Lifeサポート (生活設計サポート) は、株式会社イーウェルが運用しています。  
●こくみん共済 coop の組合員の方がマイページへ登録・ログインいただくことでご利用できます。マイページは公式アプリ・WEBサイトから登録いただけます。●掲載画像はすべてイメージです。予告なく変更する場合がございます。●WELコインとは、「こくみん Lifeサポート (生活設計サポート) WELBOX」のメニューにご利用いただけるポイント制度です。サービスメニューを利用することで貯まる「使える」コインです。1コイン=1円分として使えます。

問い合わせ先: キャンペーン・こくみん Lifeサポート(生活設計サポート)のメニューに関する問い合わせ  
株式会社イーウェル(こくみん LifeサポートWELBOXセンター)TEL:0570-040-593  
営業時間:全日10:00～21:00(年末年始を除く) ※その他はこくみん共済 coop 様へお問い合わせください

**つもる話は  
アフター  
ファイブに。**

仕事帰りにサクッと  
タカマガヤン

**水曜よりみち相談会**  
17:00～19:00

毎週水曜日 夕方 **予約優先!**

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

**ローンのこと、お金のこと。  
ご相談内容が充実。**

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、  
預金や個人向け国債、投資信託、個人年金保険の  
ご相談もお取扱いたします。※2  
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

**はずむ話は  
デイ  
タイムに。**

日曜にじっくり。  
家族一緒にサナイス。

**日曜のんびり相談会**  
9:00～12:00 13:00～16:00

毎週日曜日 **予約制**

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。 **予約制**

**3ローンセンターでは土曜日も相談OK。**  
お客さまの声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店  
◎浜松中央ローンセンター  
◎静岡中央ローンセンター  
◎富士ローンセンター

2つの「相談会」。  
働く人に便利な

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。 ※いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。  
※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。

「ろうきん」が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの「ろうきん」へ。

お近くの(ろうきん)はこちら!

スマホでアクセス!

いつでもあなたの目標で。

**静岡ろうきん**

お問合せ・ご予約は

ビボバdeろうきん 携帯電話からでもOK!  
フリーダイヤル 平日 9:00～18:00  
**0120-609-123**

インターネットホームページ  
<https://shizuoka.rokin.or.jp>